

これからの働き方 ～仕事と子育ての両立から学ぶ～

平成6年度 入省（建築）
営繕部 技術・評価課 工事検査係長
岩田 美穂

現在の業務

今年度から工事検査業務を担当しています。検査は2つの法律に基づき、契約の適正な履行と施工管理、出来形、品質、出来ばえについて確認します。先輩方の「検査は最後の砦」という言葉に緊張と責任を感じつつ、適正な検査と工事の技術水準の向上に繋がる指導を心がけ、日々業務にあたっています。

これまで企画立案、設計、積算、現場監督、他省庁への出向など様々な業務を経験しましたが、検査職員として業務に携わるのは今回が初めてです。検査を通して気づく「品質確保の視点」も多く、設計へのフィードバックの必要性を感じています。

また、地方公共団体の方から、検査に関する問い合わせをいただくこともあり、官庁営繕が先導的役割を担っていることを実感しつつ、公共建築が魅力的なものになっていく一端となるよう適切なアドバイスを心がけています。



仕事と子育ての両立

三度の育児休業を活用し、夫の両親の心強いバックアップのもと、平日は仕事に集中できる環境があり、休日は子どもとの時間を楽しみ、三人の息子は大学生、高校生、中学生に成長しました。

息子達がスポ少の野球チームに所属していた9年間は、夫はコーチ、私は応援で、忙しくも楽しい時間を共有し、朝のランニングや夜の素振りに付き合って筋肉痛になった日々を懐かしく思います。

やはり仕事と子育ての両立は、仕事と家庭のバランスを上手く保つことが大事です。“もっと時間が欲しい”と欲張りな悩みを感じつつ、目の前のことを消化するだけで精一杯の毎日を送ってきました。この春、息子達が少し手を離れ、周りを見渡す余裕ができ、改めて家族の協力や、職場の方々のご理解があって、現在まで続けられていることに感謝しています。また、忙しい中にも、施設整備に携わる喜びや達成感を実感する瞬間があり、上手いかない時を子どもの笑顔で乗り切ることもあり、両立しているからこそ味わえるものがあるように思います。

現在は、仕事と子育ての両立支援制度もずいぶん改善され、第一子を出産した当時と比べると、男女共に両立しやすい環境が整っています。その制度を使いやすい職場環境を作ることも大切だと感じています。



これからの働き方

昨今、建設業における女性活躍、担い手の確保に向けた働き方改革が進められています。

仕事と子育ての両立をする中で実感しているのは、ひとりの力には限界がある、個々の個性を生かしてチームで仕事をする方が、生産性が高く、質の良い仕事ができるということです。子育ても然り。

公共建築に携わる方々と話していると、“昭和の気質”や“休日の過ごし方がわからない”という言葉を目にします。ハード面の整備に乗り遅れないよう“社会の常識（昭和の当たり前）が変わろうとしている”ことを認識し、意識改革を進めるべく、定期的に話す場を設けるなど定着を目指して日々奮闘しています。